

第 14 回 憲法問題をめぐる小グループ討議

【到達目標】 憲法問題をめぐって、与えられた資料を読んだうえで、必要に応じて資料を自ら収集し、他者の議論を踏まえつつ、論拠を示しながら自分の主張を的確に述べることができる。歴史的に差別されてきた集団に対して、優先的な処遇を与える積極的差別是正措置が、逆差別として、憲法に違反するか否かについて、具体的事例を挙げ、考察することができる。

【事前学修】 事前に、配布資料「小グループ討議課題～法の下の平等とアファーマティブ・アクション」を読んだうえで、必要に応じて、図書館等を利用して資料等を自主的に収集し、小グループ討議において自ら主張する趣旨をまとめておく。

今回は、小グループに分かれて、法の下の平等について検討したうえで、アファーマティブ・アクションのあり方、憲法適合性及び政策的妥当性等について討議する。

この講義では、学生の能動的な学修の充実を図るため、講義内容の構成、事前・事後の学習内容の設定、教材など、さまざまな工夫をしている。この小グループ討議も、そのための工夫の 1 つである。

配布した資料を熟読したうえで、必要に応じて、自分で資料等を収集するなどして、他の受講者とともに議論をしてほしい。資料収集にあたっては、図書館等を利用して、図書、論文、新聞記事などを積極的に集める（決して、インターネット上の情報だけを頼りにしてはならない）。

議論の際には、他者の議論を踏まえつつ、適切なタイミングで自分の主張を的確に述べることが求められる。何らかの主張をする際には、論拠を示すことが必要である。

最後に、小グループにおける議論に対して、自分がどの程度貢献できたかを評価し、課題等を分析する。

(年 月 日)

【事後学修】 小グループ討議での議論を整理したうえで、自己評価シートを作成する。